

Photo Topics
02 市内各地を鮮やかな輝き
イルミネーション

11月23日にJR小林駅前で行われた「こばやし冬まつり2014」を皮切りに、市内各地をイルミネーションが彩っています。野尻地区では、国道268号沿いの各家庭や商店が思い思いの電飾を設置。約2キロにわたり約50万個の電球が人々の目を楽しませています。須木地区では、旧鳥田町小にイルミネーションが登場。鳥田町活性化委員会とすきむらんどイベント実

行委員会が主体となり、栗、ゆずやままこ滝をモチーフにした手作りの光のオブジェが校庭や校舎を鮮やかに彩っています。
【場所・点灯時間・期間】▼小林（小林駅前ロータリー）18時～22時、（駅南公園）18時～21時、1月9日まで▼野尻（国道268号沿い野尻町商店街）17時30分～23時、1月10日まで▼須木（鳥田町小学校跡地）18時～21時、1月10日まで



	14	
	16	15
18		
19	17	

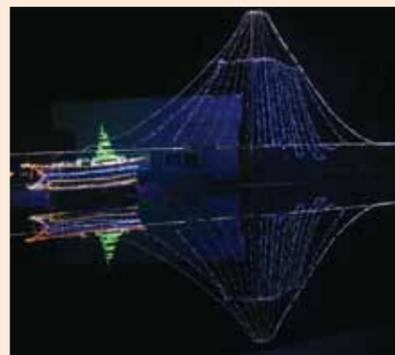
14小林こばやし冬まつり2014 15小林イルミネーションで遊ぶ 16須木大つり橋をモチーフにしたイルミから顔を出す 17野尻道の駅ゆ〜ばるのじり横の大塚原公園 18野尻国道268号沿い 19須木旧鳥田町小の校門から体育館を彩る



1 バレードこども神輿（三松小学校） 2 フェスティバル Break girls 3 バレード大笑い一座 4 農畜産まつり「こすもす大鍋」 5 フェスティバル Team 乱翔舞 6 フェスティバル Kid's B 7 バレード神輿奉納ほぜ夫婦神輿 8 フェスティバル小林翔舞会 9 フェスティバル小林幼稚園 10 バレード稚児行列 11 小林プライダルコレクション美容組合 12 総踊り 68団体約1803人参加 13 ゲストチームハラウラウラーナニ

7	6	1
9	8	3
11	10	5
12		
13		

INTEこのイルミここが見どころ



プールに浮かぶ船は今年初の試み。風が弱いと水面に映り、楽しみも倍増です

水面に映る船と富士山
地域の協力でできたイルミ

今年が目玉はプールに浮かぶ船のイルミです。逆さ富士との競演がなんとも言えないすばらしさでとても美しいです。毎年、須木のイルミは地域の助けがあって成り立っています。こうして点灯でき協力してくれた人たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんぜひ見に来てくださいね。



鳥田町活性化委員会 委員
うえむら
植村タミエさん

Photo Topics
01

福島のフラダンスチーム踊り披露

こばやし秋まつり 2014



市立図書館で移動型の演劇公演

11月30日、市立図書館で演劇公演が行われました。小林市民劇団「25馬力」が公演し、市民ら約50人が来場。参加者は演者の動きに合わせて、移動しながら観賞。神水流じん子団長は、好評の声を「図書館の協力のおかげ。また開催したい」と話していました。



年末年始のパトロール強化始まる

12月2日、年末年始のパトロールを強化する特別警戒取締隊「ひなもり隊」の発隊式が小林警察署でありました。河野憲彦署長は「犯罪や事故の未然防止のため、ご協力をお願いしたい」とあいさつ。式後、パトカー、白バイや青パトで管内を巡回しました。



西高調理科生徒ら集大成の料理を披露

12月4日、小林西高調理科3年生の学習成果発表会が、同校体育館でありました。生徒を代表して外村勝斗くんが「3年間の集大成。時間の限り楽しんで」とあいさつ。会場には生徒36人が手掛けた66作品が並び、保護者や恩師などに料理を振る舞っていました。



細野中の生徒ら手紙の温かさ学ぶ

12月4日、細野中の1年生を対象にした年賀状の書き方教室が行われました。小林郵便局の齋藤寿則総務課長が講師として登壇。齋藤さんは、「携帯のメールは便利ではあるが、手紙のもつ温かさも忘れないでほしい」と手紙の良さを児童に伝えました。



中心市街地活性化へ会社設立 柗崎社長ら、肥後市長へ報告

中心市街地の活性化に取り組む「小林市まちづくり株式会社」が設立し、12月1日、柗崎庄二代表取締役社長が肥後市長に報告を行いました。当社は、江南跡地の再活用やカフェ開業など、にぎわいを創出する事業を実施予定。柗崎社長は「新しいことに挑戦し、収益をあげていきたい」とあいさつしました。



当社は11月21日、市内の商工業者7人、資本金1400万円で作成。小林商工会議所内に事務所を置き、事業を展開します

小中学生がクロカンでリレー 起伏のあるコースで速さ競う

12月7日、総合運動公園クロスカントリーコースで、第2回クロスカントリーリレー大会が開催されました。市内外の小中学生28チーム181人が出場。陸上競技場をスタート・ゴールとした個人、リレーの4競技が行われ、選手らは起伏や変化に富んだコースで速さを競いました。



下り坂を駆け下りる選手ら。クロスカントリーコースは、総合運動公園内に整備されたコースです



こすも〜丼は、宮崎牛やゴボウなどを使った牛丼で味付けは焼肉のたれ風。児童らは「今までで一番おいしい」と声を揃えていました

生産農家ら給食に宮崎牛贈る 生徒ら「こすも〜丼」を堪能

11月22日、市内の和牛生産者団体が、市教育委員会に宮崎牛約220キログラムを贈りました。11月28日には、それを使った給食「こすも〜丼」を市内小中学校の児童・生徒らに提供。和牛部連絡協議会東梅住男会長は「宮崎牛が小林で多く生産されていることを知ってほしい」と話していました。



市長から委嘱を受けた石黒さん。今後、市内の観光資源の発掘や観光ツアーの企画などにより県内外へ広く情報発信を行う予定です

地域おこし協力隊に新隊員 須木へ石黒さん(神奈川県出身)着任

地域活性化と自らの定住を目的にした総務省「地域おこし協力隊」事業で、神奈川県出身の石黒珠美さんを、市の6人目の隊員として委嘱しました。12月1日から、須木庁舎地域振興課に所属。「旅行会社に勤めていた経験を生かし、須木の活性化に貢献したい」と意気込みを語りました。

日本一の種雄牛「秀正美」号 生産者倉菌香代子さんを表彰

11月22日、西諸県郡市種雄牛造成事業中間報告会が西諸畜連でありました。種雄牛の能力検定法の1つである間接検定で日本一の種雄牛を生産した倉菌さんの表彰や和牛振興に関する基調講演を実施。倉菌さんは「うれしい限り。これに満足せずさらに勉強をしていく」と話していました。



表彰を受ける倉菌さん。この事業は県家畜改良事業団とは別に、平成21年から西諸地区で種雄牛を造成しようとしたもので

市出身の2選手が活躍 日本ハンドボールリーグ開催

11月29日、日本ハンドボールリーグ小林大会が市民体育館で行われました。湧永製薬×トヨタ紡織九州とトヨタ車体×大崎電気の2試合を実施。試合には、市出身の甲斐昭人選手(トヨタ車体)と木切倉真一選手(同)も出場し、日本トップレベルのプレーに会場は大いに盛り上がりました。



写真左)体を張ってゴールを守る甲斐選手。写真右)司令塔を務めた木切倉選手。2人の活躍に会場からは大きな声援が送られていました

子ども司書に小学5年生 10人を認定

12月8日、「子ども司書養成講座」の閉講式が市立図書館で行われました。5カ月間、全10回の講座を通して司書学を学んだ小学5年生10人に「子ども司書」の認定証が渡されました。子ども司書は、県内で小林市だけで行われている、今年4年目の制度です。



育樹祭で県道1号沿いにモミジを植樹

12月9日、県道1号みどりのトンネル育樹祭がありました。事業所や市民ら約160人が参加。通行止めになっている県道1号の旧料金所跡から展望所までの約8キロが特別に解放され、モミジの木の植樹や樹木の枝の除伐、下払い、清掃などを行いました。



ライオンズクラブが清掃用品を寄贈

12月12日、小林ライオンズクラブから幸ヶ丘小への竹ぼうきなどの清掃用品の贈呈式がありました。馬場昭次会長は、「学校をきれいにし、心もきれいにしてほしい」と児童らにあいさつ。同クラブは、市内全小中学校21校に清掃用品を寄贈しました。



市立病院でクリスマスコンサート開催

12月13日、クリスマスコンサートが市立病院で行われました。ハンドベルやバイオリンの演奏、南保育園の園児らによる歌や合奏、クリスマスカードのプレゼントなどを実施。同病院の入院患者やその家族ら約70人は癒しの時間を過ごしました。



ウォーキングで健康づくり 東京学芸大名誉教授が講演

12月13日、ウォーキング講演会(市ウォーキングクラブ推進事業実行委主催)が市民体育館で開催されました。市民ら約140人が参加し、講演には東京学芸大学の波多野義郎名誉教授が登壇。正しい歩き方やウォーキングの効果の説明し、「1日1万歩歩いて生活習慣病を防ごう」と話していました。



「運動不足が生活習慣病のもと。1日1万歩歩けば、予防に効果がある。歩いて健康寿命をのばそう」と呼びかける波多野名誉教授

野球スポーツ少年団11団体 感謝の気持ちで球場を清掃

12月4日、スポーツ少年団野球部会11チームの6年生が緑ヶ丘公園市営野球場の清掃をしました。団員や保護者ら約100人が参加。小林太陽クラブ片平俊一監督は「競技力だけでなく、施設や道具を大切に、感謝の気持ちを持てる子どもたちを育てていきたい」と話していました。



清掃する団員ら。小林小6年の松田康平さんは「ごみや落ち葉がたくさんあり驚いた。綺麗になり気持ちがいい」と話していました



学校支援ボランティアでもある地元の高齢者4人が、しめ縄づくりの講師として参加。その名人技に子どもたちは釘づけに

収穫米のワラでしめ縄づくり 永久津小・中で三世代交流

12月7日、永久津小学校グラウンドで収穫祭が行われました。永久津小・中学生、保護者や地域住民ら150人が参加。子どもたちが収穫した米を使った餅つき体験や、収穫米のワラを使ったしめ縄づくりで交流。講師として参加した名人がしめ縄を作り上げると、歓声が上がっていました。



感謝状贈呈の後、「人権かるた」を人権擁護委員らと行い、児童らは身近にある人権について楽しみながら学びました

花を育て人権について学ぶ 須木小での取り組みに感謝状

12月10日、人権の花運動に対する感謝状の贈呈式が須木小学校でありました。この運動は、花の育成を通して思いやりの心を育み、人権について学ぶことが目的。同小6年の前田樹里さんが「動物や植物、そして友達にやさしくできる須木っ子を目指します」と元気よくあいさつしました。

全国体力づくりコンテストで 野尻中学校が優秀賞

「第28回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト」の表彰式が12月6日、毎日新聞東京本社で開催され、野尻中学校が優秀賞を受賞しました。野尻中では、週2回のラジオ体操や、全校生徒一斉の菌磨きなどを実施。独自性のある取り組みや生徒の基礎体力の向上が評価されました。



保体委員の山崎雅稀くん(写真左)と東原治希くん(右)。2人は、「賞に恥じないよう、気持ちを新たに頑張りたい」と話していました

給食でチョウザメ料理を提供 須木小中の児童生徒ら味わう

12月9日、チョウザメを使った給食が須木小・中学校で提供されました。学チョウザメを使った給食メニューは、今回が初めて。子どもたちは、須木学校給食センターで考案されたチョウザメを揚げてしょうゆベースの甘辛たれと、砕いたアーモンドであえた特別メニューを味わいました。



チョウザメを食べる子どもたち。昭和58年の同日に小林での養殖が始まったことにちなみ毎月9日をチョウザメの日としています